

## 第1学年 音楽I 学習指導案

日 時 令和3年1月14日(木曜日)6時間目

場 所 鹿児島県立古仁屋高等学校 音楽室

対象学級 普通科1年2組

(男子7名 女子6名 計13名)

授業者 下園 俊郎

- 1 題材 言葉のまとまりと旋律の動きを意識して演奏しよう。
- 2 教材 『なごり雪』 伊勢正三 作詞・作曲 (MOUSA1 p44~45)
- 3 題材設定の理由

### (1) 生徒の実態について

これまで、音楽Iの授業では「リズムアンサンブル」や「ギターのコード奏」「ヴァイオリン演奏」を行い、リズムアンサンブルや器楽演奏への理解や音楽表現に対する興味関心を高めてきた。対象クラスの1年2組は、読譜を苦手とする生徒は多いが、器楽演奏に対する興味関心は高く、自ら積極的に取り組む生徒も見られる。

### (2) 題材設定について

高校入学以前、ほとんどの生徒がギターに触れたことない。高校の授業でギターに触れ興味を持ち、自らアコースティックギターを購入し練習している生徒もいる。これまでの授業では、「ギターのコード奏(ストローク奏法)」を行い、アルペジオ奏法の知識はほとんどない。

本題材では、アルペジオ奏法を扱うことで、生徒一人一人が楽曲の歌詞(言葉)と旋律の動きを意識し伴奏のパターンを考えられるように授業を展開していきたい。また、生徒にとって分かりやすい発問や教材により、アルペジオ奏法や伴奏のパターンを考える楽しさや達成感を味わわせ、ギターをより身近な楽器として感じさせるように支援していきたい。

### (3) 教材について

本題材を通して主教材となる楽曲については、教科書から生徒が演奏しやすく、また工夫しやすい楽曲を選び、アルペジオ奏法を学習した際の抵抗感を乗り越えさせようと考えた。これらのことから、「なごり雪」(伊勢正三 作詞・作曲)を選曲した。

## 4 題材の目標

- (1) ギターのアルペジオ奏法についての知識や基本的な奏法を身につけ、演奏することができる。  
(知識及び技能)
- (2) 『なごり雪』の言葉のまとまりと旋律の動きを意識して、楽曲にふさわしい表現の工夫をすることができる。  
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) ギターのアルペジオ奏法に関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組むことができる。  
(学びに向かう力、人間性等)

## 5 指導計画

時 間	学習活動
1	(1) 1・2学期に学習した、ギターのストローク奏法を復習する。 (2) 2学期に学習した、『第三の男のテーマ』の復習をする。 (3) 『なごり雪』のコード奏(ストローク奏法)を練習する。 (4) アルペジオ奏法について確認する。

2 (本時)	(1) アルペジオ奏法について確認し、練習する。 (2) 『なごり雪』のアルペジオ奏法を練習する。 (3) 歌詞(言葉)と旋律の動きを確認し、アルペジオ奏法のパターンを工夫する。
-----------	---

## 6 評価の観点

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
アルペジオ奏法についての知識や基本的な奏法を身につけ、演奏することができる。	言葉のまとまりと旋律の動きを意識し、楽曲にふさわしい表現の工夫をすることができる。	アルペジオ奏法に関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組むことができる。

## 7 本時の実際

### (1) 本時の目標

- 歌詞(言葉)と旋律の動きを意識し、アルペジオ奏法を工夫する。

### (2) 本時の展開

課程	学習活動	形態	指導上の留意点等	評価
導入 (5)	1 本時の目標について知る。 「歌詞(言葉)と旋律の動きを意識し、アルペジオ奏法を工夫する。」	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書で本時の目標や活動内容を確認する。</li> <li>・前時を振り返り、学習内容を整理させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返り、コード奏が出来ているか。</li> </ul> <b>【知識及び技能】</b>
展開 (40)	2 アルペジオ奏法について確認する。 3 『なごり雪』をアルペジオ奏法で練習する。 4 『なごり雪』の全体合奏を行う。 5 「歌詞(言葉)と旋律の動きを意識し、アルペジオ奏法を工夫する。 6 5で考えたことを踏まえ、『なごり雪』を練習する。 7 『なごり雪』を発表する。	一斉  グループ  一斉  個人 グループ  グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本パターンを反復し、アルペジオ奏法を身につけさせる。</li> <li>・フィンガリングについて個別に指導する。</li> <li>・右手の親指(p)のフレット番号を書かせる。</li> <li>・理解しやすいように、例を示す。</li> <li>・アルペジオ奏法についてグループ毎に指導する。</li> <li>・それぞれの工夫する点を確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいフィンガリングが出来ているか。</li> </ul> <b>【知識及び技能】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲にふさわしい表現の工夫を考えることができる。</li> </ul> <b>【思考力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲にふさわしい表現を工夫することができる。</li> </ul> <b>【表現力】</b>
まとめ (5)	8 本時の振り返りをする。 9 楽器の片付け	個人 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに感想を書かせる。</li> <li>・教師による気づきを伝える。</li> </ul>	

### (3) 本時の評価

- 言葉のまとまりと旋律の動きを意識し、アルペジオ奏法を工夫することができたか。